

1.5T MRI 新装置導入の お知らせ

放射線科 法山 智顕

当院では令和7年4月より、最新のSIEMENS社製1.5T MRI「Altea」の運用を開始しました。これまで使用していたSIEMENS社製1.5T MRI「Symphony」（2004年3月導入）は、約21年間にわたり地域医療に貢献してきましたが、装置の老朽化と最新技術への対応を目的に、新しいMRI装置へ更新されることになりました。

MRI（Magnetic Resonance Imaging）は、強力な磁石と電磁波を利用し、放射線を使用せずに体内の詳細な画像を撮像できる技術です。MRIでは、複数の撮像法を組み合わせることで、軟部組織や血管、神経などの詳細な情報を得ることができ、様々な疾患の診断に役立ちます。

今回導入された「Altea」は、最新の付属機器や画像処理技術に加えてAI技術を搭載し、よりクリアな画像を迅速に取得できるようになったことが特長です。従来の装置では靭帯や神経の様な小さく細かい部位や動きのある部位の撮像にはノイズも多く、検査時間が長くなってしまいました。それに対して新しいMRI装置では、信号を多く収集でき、更にAI技術を活用して画像のノイズを抑えることができるため、同じ画質を得るための時間を短縮して患者さんの負担を軽減することができます。それに加えて、以前のMRI装置では撮像が難しかった頭部や腹部や下肢全長の血管撮像や全身領域に対応する新しい撮像法も追加されました。

この最新MRI装置「Altea」の導入により、当院の画像検査の質がさらに向上し、より正確な診断と適切な治療方針の決定の手助けができると期待できます。今後も、最新の医療技術を活用し、地域の皆様に安心・安全で高品質な医療を提供してまいります。MRI検査に関するご質問やご不明な点がございましたら、お気軽にスタッフまでお尋ねください。



全身撮像
(T1W1)



下肢動脈
(MRA)



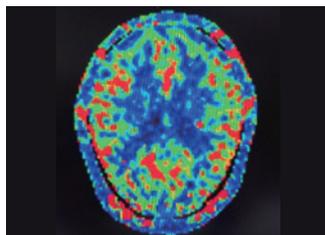
全身撮像
(Diffusion)



門脈 (MRP)



腎動脈 (MRA)



脳血流画像 (ASL)



肩関節 (PdWI)